

中期ビジョン（5か年計画）

I 本校が目指す姿

① 学校の現状や課題

明治35年創立の本校は、文と武の両方を重んじる「右文尚武」、飾り気がなく、強く健やかな「質実剛健」、優れた者同士が切磋琢磨し人格を高め合う「玲瓏同氣」の三つを校標とし、今日まで長い歴史と伝統が築かれてきた。この三つの校標と本校独自の「生徒憲章」は、日々の教育活動を支える「不易」な理念となっている。

一方、将来の予測が困難な時代にあって、生徒一人一人が未来の創り手となるため、志高く自ら自己実現を果たそうとする気概を育み、未来を切り拓く人間力や社会に貢献する人材を育成する「流行」としての教育活動は、その重要性を増している。本校における「不易流行」や教育効果の高い学校づくりの充実が求められている。

② 学校を取り巻く将来の状況の予測

高度情報社会の加速、グローバル化の進展、科学技術の発達等は、社会構造・産業構造に変化をもたらし、将来の予測が困難な時代となっている。また、本県は人口減や少子化に歯止めがかからず、ここ由利本荘市、にかほ市もその例外ではない。これからの時代をたくましく生き抜き、グローバルな視野で考え、行動し、あるいはふるさと秋田を支えようとする高い志をもつ人材の育成は、時代の要請である。

③ スクール・ポリシー

i) グラデュエーション・ポリシー（目指す生徒像）

(1) 教育目標

将来の社会を担う人材となるべく、人格の完成と真理の探究に努める心身ともに健全な生徒を育成する。

(2) 教育方針

- ・未来を切り拓く人間力を高め、社会に貢献する人材を育成する。
- ・高い志をもち自己実現を果たそうとする姿勢を育成する。

(3) 重点目標

- ・自主自律の精神の伸長と、自ら人生を切り拓く力の育成
- ・時代の変化に対応し、心豊かにたくましく生きる力の育成

※ 「教育方針」の中の「未来」には、生徒一人一人の未来、ここ由利本荘市・にかほ市の未来、ふるさと秋田の未来、という意味が込められている。「自己実現」には、変化の激しいこれからの時代に主体的に向き合い、自らの可能性を発揮し、よりよい社会と幸福な人生の創り手となってほしいという願いが込められている。

ii) カリキュラム・ポリシー（本校の学び）

これまでの歴史と伝統をもとに、次世代を担う人材を育成するための学びを以下の方針によって実現します。

(1) 時代の変化に対応できる学力を身に付けた人材の育成

- ・基礎・基本の習得を重視した授業により、確かな学力を身に付けた生徒を育成します。
- ・個々の生徒の学力に対応した学習を支援し、主体的に学ぶことができる生徒を育成します。
- ・探究的な学びを取り入れ、「問い」を発する生徒を育成します。
- ・協働的な学びを取り入れ、他者と関わりながら問題解決できる生徒を育成します。

- (2) 多様な見方・考え方を身に付けた人材の育成
- ・教科横断的な学習機会を多く設け、身に付けた知識を多様な場面で活用できる生徒を育成します。
 - ・教科の学習内容と実社会との関わりに気付くことができる生徒を育成します。
 - ・総合的な探究の時間では地域や世界の諸課題に目を向け、解決策を提案できる能力を備えた生徒を育成します。
 - ・自治体、地元企業、大学等との連携を密にし、様々な体験をもとに将来のビジョンを描くことができる生徒を育成します。

- (3) 自他を認め、心豊かでたくましい人材の育成
- ・学校行事、部活動、インターンシップやボランティア等を推進し、他者と協働して物事に取り組むことができる生徒を育成します。
 - ・道徳教育、人権教育、ジェンダー教育、主権者教育を推進し、自他を尊重し社会に参画しようとする生徒を育成します。
 - ・P T A、同窓会、地域の人材の活用を推進し、多様な生き方や価値観を尊重できる生徒を育成します。

iii) アドミッション・ポリシー（求める生徒像）

- (1) 本校の教育目標に共感し、本校で学びたいという強い意欲をもつ生徒。
(2) 進路目標達成のために本校入学後も意欲的に学業に取り組むことができる生徒。
(3) 学業のみならず特別活動においても意欲的に取り組もうとする生徒。

II 5年間を通しての具体的な目標と取組

① 5年間を通しての具体的な目標

i) 社会的自立に必要な資質・能力を身に付けた生徒を育む。

- (1) 主体的に学ぶ生徒、学びに向かう力の育成
(2) 確かな学力の充実
- ・大学進学者における国公立大学進学者の割合は、55%以上
 - ・東京大学、京都大学、東北大学、医学部医学科への進学者の確保

ii) 志高く、自主自律の下、心豊かにたくましく生きる生徒を育む。

- (1) 豊かな人間性を育む教育活動の展開
(2) 自己管理能力、自主自律への支援

iii) グローバルな視野で考え、行動できる生徒を育む。

- (1) 未来を切り拓く態度の育成
(2) 校標「右文尚武」、「質実剛健」、「玲瓏同氣」の具現
- ・全国規模の探究的コンクール、学生論文等での入賞
 - ・部活動加入率85%以上の維持、複数の部活動の全国大会出場

② 目標を達成するための具体的な方法、取組等について

i) 授業改善を推進し、生徒の学力向上を目指す。

- (1) 主体的・対話的で深い学びによる、確かな学力の育成
(2) 思考力・表現力・判断力等の養成による「問い」を發する生徒の育成
(3) 各学力層に対応した授業展開の研究（少人数学習、習熟度授業等の実施）
(4) 授業におけるICTの効果的な活用についての研究

ii) 部活動や学校行事、生徒会活動等を通して生徒の社会性を育む。

- (1) 自尊感情や自己有用感の醸成
(2) 他者への思いやり、規範意識を身に付けた生徒の育成
(3) 他者と切磋琢磨し合いながら総合的な人間力を高めようとする生徒の育成

- iii) 生徒が自分自身を見つめ、夢を叶えるための進路指導を充実させる。
- (1) 学習習慣を定着させ、自ら学習方法確立に取り組む生徒の育成
 - (2) 自ら課題を設定し、その探究に積極的に取り組む生徒の育成
 - (3) 自己の適性や社会との関わりについて考え、主体的に進路選択をする生徒の育成
 - (4) 高大接続改革と大学入学共通テストの研究
- iv) 地域や家庭、同窓会等との連携を図りながらキャリア教育を充実させる。
- (1) インターンシップ、ボランティア活動等の活性化
 - (2) P T A、同窓会等、学校関係機関との連携・協働による地域資源の活用

令和3年6月策定
令和5年6月一部改訂